

新聞・雑誌から見る現代日本

しんぶんざっし みげんだい にほん

第8回

だい かい

「感情を持つロボット」

かんじょう も

このコーナーでは、新聞・雑誌の記事を通して現代日本事情を紹介するとともに、中等教育機関や高等教育機関で日本語を教える先生方が、新聞・雑誌の記事などの生教材をどうやって教材化し、日本語の授業にどう活用できるかを提案していきます。今回は『感情を持つロボット』に関する記事を取り上げますが、実際の教室活動の流れにそって質問と記事を提示しました。

「読む前に」の部分は、いきなり記事を読むのではなく、記事に関する背景知識を整理して、読む準備をすることを目的にしています。読む前の質問は、学習者が話題に関してどんな情報やイメージを持っているかを引き出したり、記事の内容を予測したりすることで、記事を読む意欲を高めることを狙っています。「読んだ後」の質問は、学習者が記事を読んで自分の頭の中に作り上げたイメージを表現させたり、記事への反応を他の学習者と交換させることを目的にしています。

読む前に

よ まえ

日本は世界でもっともロボット実用化の進んだ国だと言われています。特に、人型の二足歩行ロボットの開発が進んでいます。テレビ漫画の世界でもロボットが活躍しています。子どもの頃アニメに夢中になったことがきっかけとなって、現在ロボットの開発をするようになった技術者も多いそうです。30年以上の歴史を持つ日本のテレビ漫画の主人公の中には、人間を助け、人間の友達でもあるロボットがいろいろいました。

下の絵はその中でも有名な鉄腕アトムとドラえもんです。

質問1：鉄腕アトムは、手塚治虫が1952年に発表した漫画の主人公で、1963年にテレビアニメ化されました。鉄腕アトムには「7つの力」があると言われています。「よい人間と悪い人間の区別ができる」「ジェット噴射で空を飛べる」「力は10万馬力」は「7つの力」のうちの3つですが、ほかにはどんな能力があると思いますか。

質問2：ドラえもんは、藤子・F・不二雄が1970年に発表した漫画に登場する猫型ロボットです。日本人の少年「のび太」君の世話をするために、22世紀の未来の世界から今の時代に送られて来ました。お腹にあるポケットから便利な道具を出して「のび太」君を助けます。例えば、どこかに行きたい時にはポケットから「どこでもドア」というドアを出して移動します。他にも「タイムふろしき」「暗記パン」などがありますが、それぞれどんな時に使うのだと思いますか。また、他にどんなものがあつたらいいと思いますか。

著作権の関係で掲載ができません。

ちよさくけん かんけい けいさい

記事1を読む前に
きじ よ まえ

アニメのロボットたちは、①人間に代わって人間以上の力やスピードで仕事をするという機能に加えて、②人間に愛される感情を持った存在として描かれていました。これから読むのは、特に②に焦点を当てて開発されたロボット「アイボ」についてです。「アイボ」はソニーが開発し、1999年に販売を開始した犬型ロボットです。喜び、悲しみなどの感情を表現することができます。また、「飼い主」とのやりとりなどの経験を学習するので、一体ごとに異なった「個性」を持って成長するのが特徴です。

質問3：記事1は犬型アイボの次に開発されたライオン型のアイボです。

写真を見てください。アイボは具体的にどのように感情を表現するのだと思いますか。

朝日新聞（朝刊）2000年10月13日「新アイボはライオン」
『日本語教育通信』2001年5月「新聞・雑誌から見る現代日本」
第8回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載できません。

〈記事2〉
きじ

朝日新聞（夕刊）2000年6月7日

「21世紀旗手 思いどおりに動かぬ可愛さ」

『日本語教育通信』2001年5月「新聞・雑誌から見る現代日本」
第8回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載できません。

▲朝日新聞2000年10月13日朝刊

記事1を読んだ後で
きじ よ あと

質問4：犬型のアイボにはできなかったことと、ライオン型のアイボにできることは何ですか。

質問5：あなたはアイボが欲しいですか。あなたの国でもアイボが売られたら、人気が出るでしょうか。

記事2を読む前に
きじ よ まえ

質問6：次の記事は、アイボを開発した土井氏へのインタビューをもとにまとめられています。「思い通りに動かぬ可愛さ」という見出しがついていますが、どんな意味だと思いますか。

記事2を読んだ後で

きじ よ あと

質問7：土井さんがアイボ開発のヒントを得た出来事は何でしたか。

質問8：アイボは不登校児の適応指導教室でどんな役に立っていますか。

質問9：「思い通りに動かないロボット」であるアイボは、これまでのロボットとは逆の発想で創られたものと言えます。土井さんは21世紀のコンピューターにはどんな役割が求められると言っていますか。あなたはどのように思いますか。

〈解答例〉

かいとうれい

質問1：「60カ国語を自由に話す」「聴力を1000倍にできる」「目がサーチライトになる」「おしりからマシンガンが出る」
参考：〈手塚治虫ワールド <http://ja-f.tezuka.co.jp/>〉

質問2：「タイムふろしき」は包んだ物を新しくしたり古くしたりできるふろしき。「暗記パン」は暗記したいことをパンにプリントして食べるとその部分が覚えられるというもの。他によく知られているのは、「タケコプター」というプロペラを頭につけて空を飛ぶ、「翻訳コンニャク」というコンニャクを食べると外国人や宇宙人と会話ができる、「スモールライト」で小さくしたいものを何でも小さくできる、など。

参考：〈ドラえもんワールド <http://www.fujiko-pro.co.jp/>〉

質問3：想像するための質問なので、どんな答でもよいが、実際のアイボは、機嫌が悪いとうずくまる、怒ると赤い目になる、ほめられて嬉しいと目を緑に点滅させる、嬉しそうな（悲しそうな）声で鳴く、など。

質問4：「おすわり」「お手」などの言葉に反応して動作をする、話しかけられた言葉を記憶して言い返す、「写真とって」という言葉に反応して写真をとる、など。

質問6：これまでのロボットが「人間の思い通りに動く」ことを目指して開発されてきたのに対し、アイボは「人間の思い通りに動かない」ために、本物の犬のようなかわいさがある。

質問7：子供達がテレビゲームばかりして、会話をしなくなったと感じ、子供達がみんなと一緒に遊べるロボットの開発を考えた。

質問8：教室で会話をしなかった子供達が、アイボをはさんで会話をするようになった。

質問9：土井さんは、21世紀のコンピューターには鉄腕アトムのように人間の仲間としての役割が求められると考えている。
参考：〈アイボ・ホームページ <http://www.jp.aibo.com/>〉

今回取り上げたテーマや練習案についてのご意見をお待ちしています。また、今回の記事を使って授業をしたときの様子や結果などを編集部までお寄せください。

このコーナーの担当＝木田真理、横山紀子（日本語国際センター専任講師）